

### 公共施設マネジメントについて

平成28年（2016年）6月、市が管理・保有する全ての公共施設の情報整理了公共施設白書を作成し、施設の設置目的や施設数、延床面積、利用状況、コスト状況などの現状を初めて明らかにしました。

また、平成29年（2017年）2月に、公共施設マネジメントの取組を推進するため、公共施設の維持管理の基本的な方針となる「つくば市公共施設等総合管理計画～公共施設等資産マネジメントの方針～」を策定しました。

公共施設マネジメントとは、長期的な視点を持って効率的・効果的に公共施設を維持管理・修繕し、長寿命化を行うことで財政負担の軽減・平準化を図り、保有する公共施設を資産として有効活用することです。

「つくば市公共施設白書」は、一般公共施設、公共建築物の保有量と併せて、各施設の基本情報、財務情報等を記した「施設カルテ」を全施設分掲載し、市の公共施設の現状について、広く市民にご理解いただくとともに、公共施設マネジメントの一層の推進を図るために公表するものです。

「つくば市公共施設白書」には、市が管理・保有する公共施設についてのデータを掲載していますので、ぜひお読みください。

- 一般公共施設の保有量
  - ・施設類型別の保有量
- 公共建築物の保有量
  - ・公共建築物の延床面積
  - ・地区別公共建築物の延床面積
  - ・公共建築物の建築年度別整備状況
- 一般公共施設に係るコストの状況
  - ・一般公共施設の収入
  - ・一般公共施設の支出
- インフラ施設の保有量
  - ・道路、橋りょう、上下水道管路の保有量と整備年度の状況
- 貸室等の稼働率
  - ・主な貸室等の保有量
  - ・主な貸室等の稼働率
- 施設カルテ
  - ・基本情報（施設名、所在地、敷地・建物情報等）
  - ・棟情報（棟名、構造主体、延床面積、建築年等）
  - ・財務状況（過去3年の歳入・歳出情報）



# 市が保有する公共施設について

## 一般公共施設の保有量

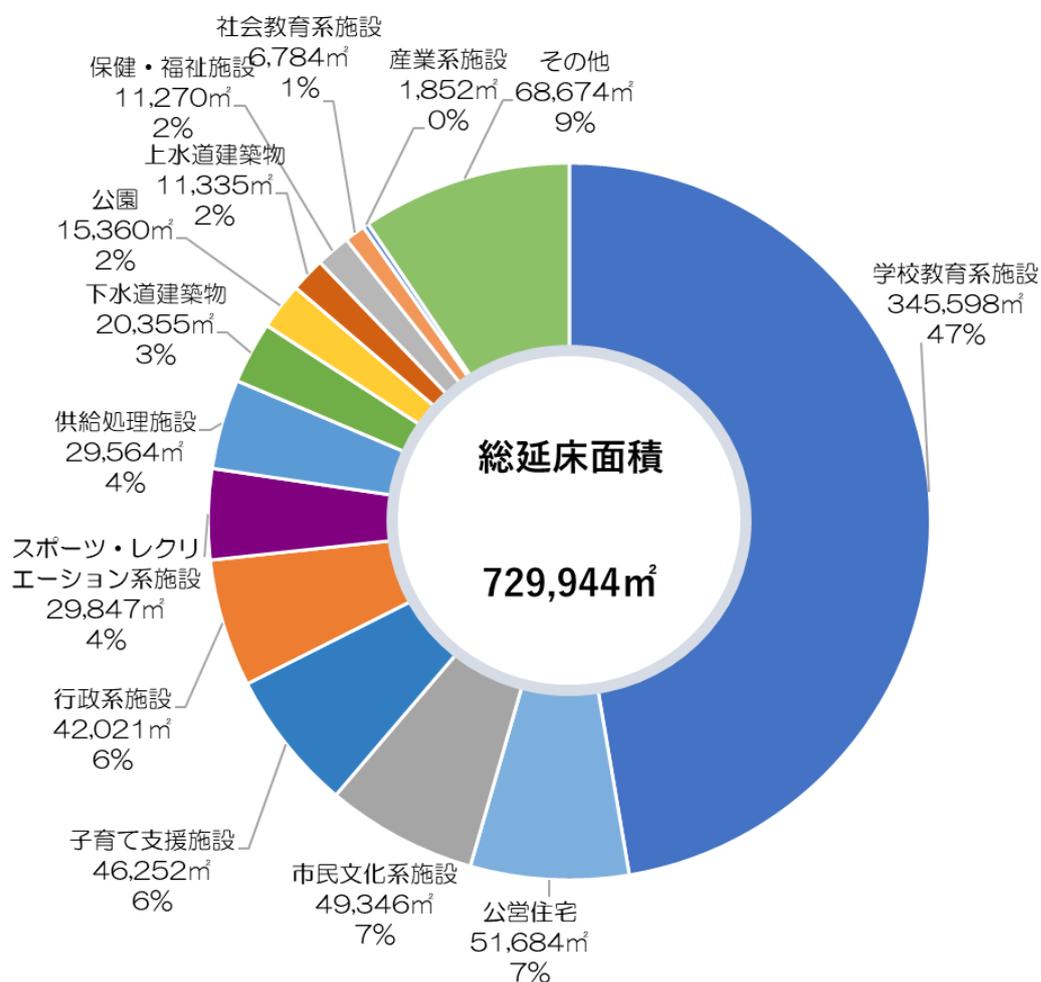
- 公共施設を一般公共施設とインフラ施設に分けた際の、一般公共施設の保有量は下記のとおりです。

一般公共施設	740施設
うち公共建築物	565施設
うち建築物のない公共施設	175施設



## 公共建築物の施設類型別延床面積

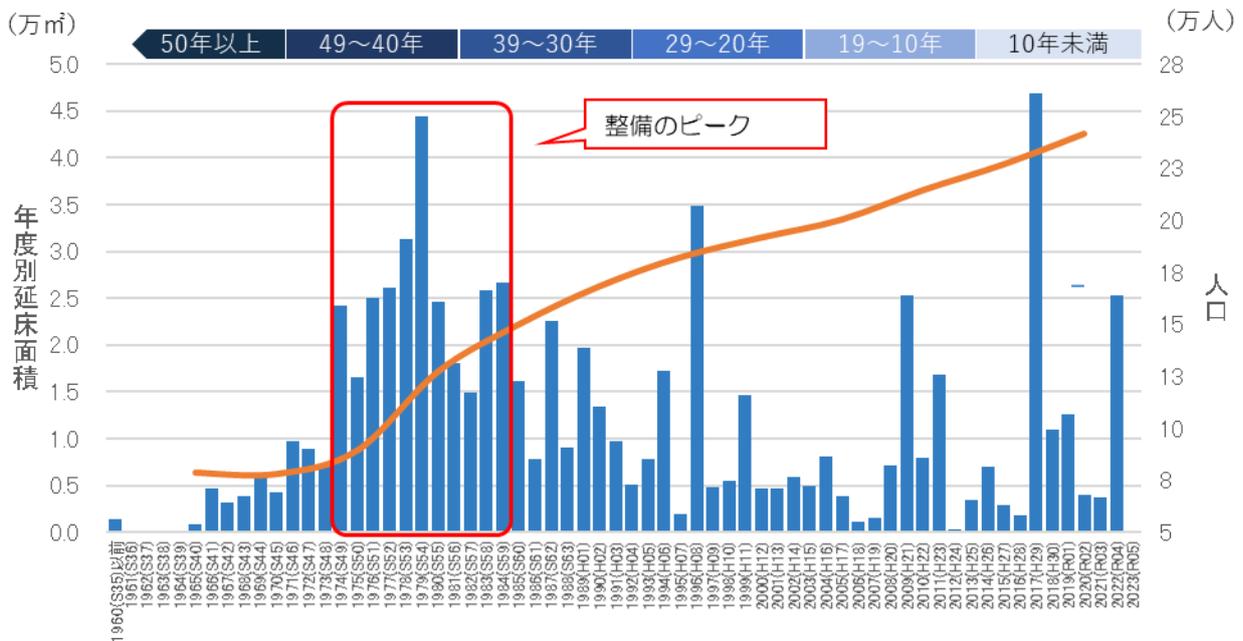
- 施設類型別延床面積は、学校教育系施設（小学校、中学校、給食センターなど）、公営住宅、市民文化系施設（地域交流センター、市民ホールなど）、子育て支援施設（保育所、幼稚園、児童館など）、行政系施設（庁舎、消防署など）の順に多く、これら上位5類型だけで市全体の約73%を占めています。



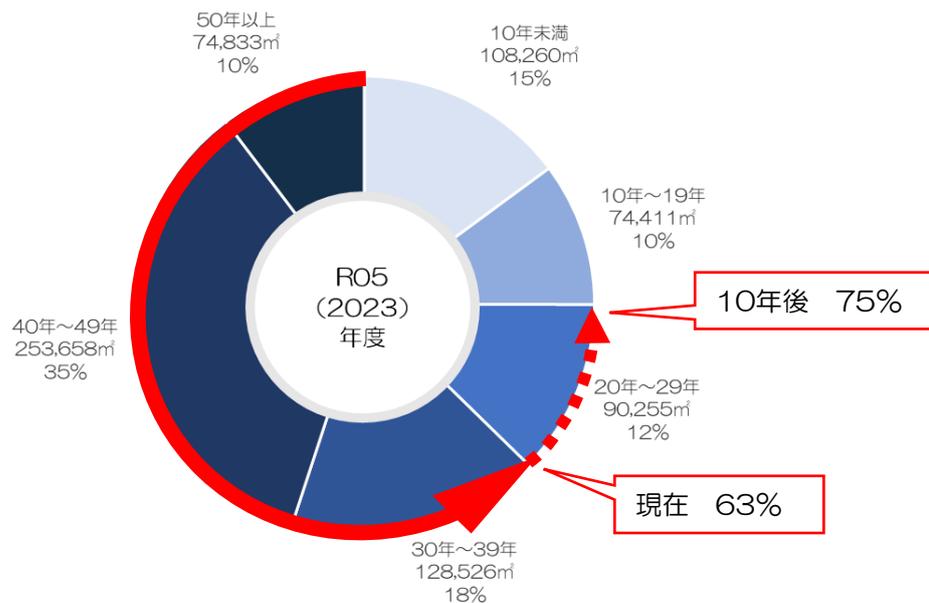
# 公共施設の現状

## 公共建築物の整備状況

- 昭和49年度（1974年度）から昭和59年度（1984年度）までの11年間に、公共建築物整備のピークを迎えており、この間で、公共建築物全体の約38%が整備されています。



- 公共建築物の63%が建築後30年を経過しています。また、建築後20~29年の公共建築物が12%あることから、10年後には建築後30年を経過する公共建築物が75%になります。

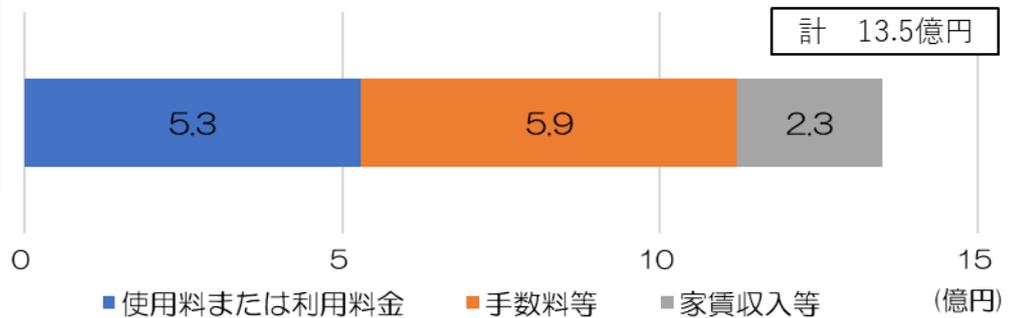


## 一般公共施設に係る収入・支出

・一般公共施設に係る収入・支出は下記のとおりです。

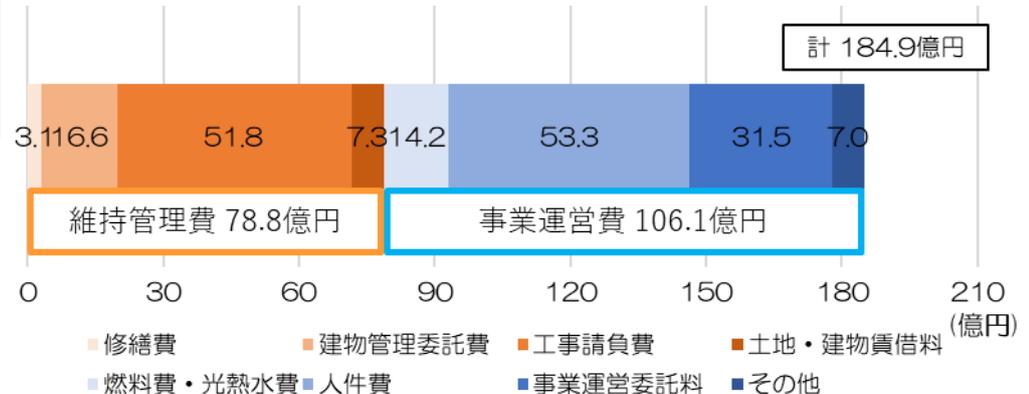
### ・一般公共施設の収入

使用料・利用料金	5.3億円
手数料等	5.9億円
家賃収入等	2.3億円
計	13.5億円



### ・一般公共施設の支出

維持管理費	78.8億円
事業運営費	106.1億円
計	184.9億円



※公共施設を維持していくための支出は、建築物等を維持するため日常的に必要な費用（維持管理費）と、公共施設においてサービスを提供するために必要となる費用（事業運営費）に分けられます。

## インフラ施設の保有量

・インフラ施設の保有量は下記のとおりです。

インフラ施設	数量	実延長	面積
道路	15,548路線	3,438km	16,858千㎡
橋りょう	588橋	—	41,299㎡
上水道管	—	1,526km	—
下水道管	—	雨水管 473km 汚水管 1,586km	—

※下水道管は令和4年度末（令和5年3月31日）現在の情報です。



つくば市 財務部 公共資産利活用推進課  
茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

TEL : 029-883-1111

<令和7年（2025年）3月>